

平成 29 年

# 福岡県の人口と世帯年報

— 平成 28 年 10 月～29 年 9 月 —

福 岡 県

# 第1 人口と世帯

## 1 人口の動向

### (1) 総人口

平成29年10月1日現在の総人口は5,110,338人  
総人口の51.44%を占める福岡地域

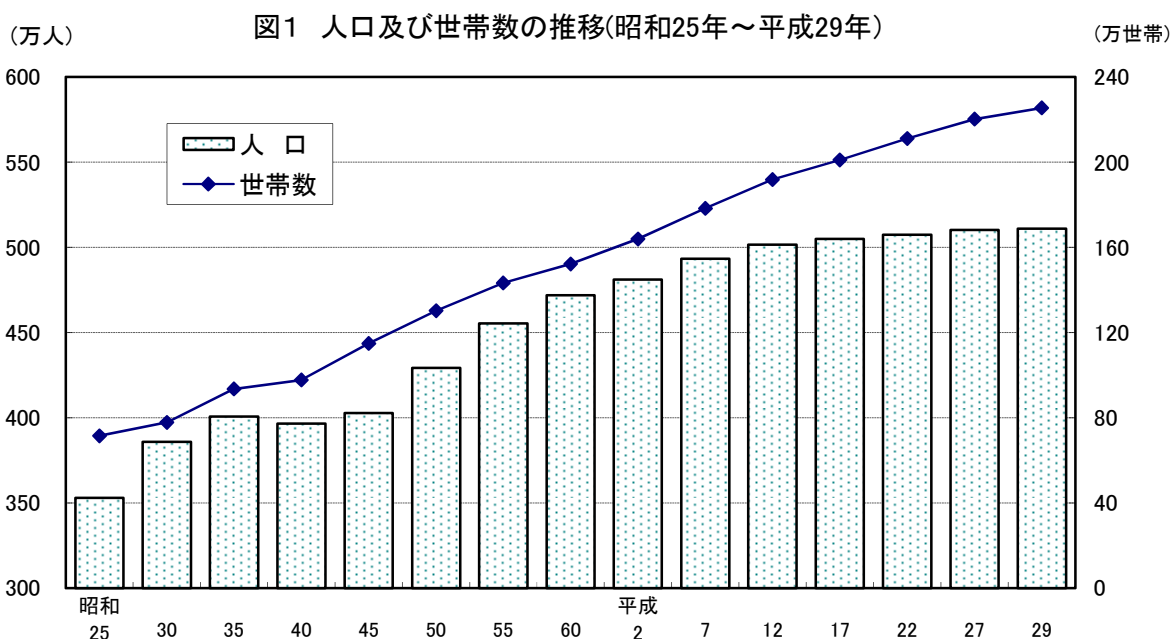
平成29年10月1日現在の福岡県の総人口は5,110,338人で、1年間(平成28年10月1日～29年9月30日)に、3,631人(0.07%)増加した。(表1, 図1)

人口を男女別にみると、男性は2,416,702人、女性は2,693,636人で、性比(女性100人に対する男性の数)は89.72となり、前年に比べ0.09ポイント上昇している。

また、地域別にみると、福岡地域が2,628,562人(総人口の51.44%)で最も多く、以下、北九州地域が1,268,095人(同24.81%),筑後地域が804,577人(同15.74%),筑豊地域が409,104人(同8.01%)となっている。(表1)

表1 総人口、構成比、増加数及び増加率

	総人口(人)		構成比(%)		増加数(人)	増加率(%)
	平成29年	平成28年	平成29年	平成28年		
福岡県	5,110,338	5,106,707	100.00	100.00	3,631	0.07
(男)	2,416,702	2,413,787	47.29	47.27	2,915	0.12
(女)	2,693,636	2,692,920	52.71	52.73	716	0.03
市	4,459,184	4,454,171	87.26	87.22	5,013	0.11
郡	651,154	652,536	12.74	12.78	-1,382	-0.21
福岡地域	2,628,562	2,610,753	51.44	51.12	17,809	0.68
筑後地域	804,577	808,646	15.74	15.83	-4,069	-0.50
筑豊地域	409,104	412,526	8.01	8.08	-3,422	-0.83
北九州地域	1,268,095	1,274,782	24.81	24.96	-6,687	-0.52



## (2) 市町村別人口

### 人口は福岡市がトップ

総人口を市町村別にみると、福岡市（1,567,189人）及び北九州市（950,646人）の2市で福岡県の5割近くを占めており、以下、久留米市（304,595人）、飯塚市（128,393人）、大牟田市（114,567人）の順に続いている。（表2）

表2 人口及び構成比順位(市町村)

順位	市町村	人口 (人)	構成比 (%)
1	福岡市	1,567,189	30.67
2	北九州市	950,646	18.60
3	久留米市	304,595	5.96
4	飯塚市	128,393	2.51
5	大牟田市	114,567	2.24
6	春日市	110,885	2.17
7	筑紫野市	102,326	2.00
8	大野城市	100,427	1.97
9	糸島市	97,000	1.90
10	宗像市	96,993	1.90

## (3) 人口密度

### 人口密度は、春日市がトップ

本県の1km<sup>2</sup>当たりの人口は、1,024.8人となっており、市町村別にみると、春日市が7,836.4人で最も高く、以下、志免町が5,226.7人、福岡市が4,563.9人となっている。（表3）

表3 人口密度順位(市町村)

順位	人口密度(人/km <sup>2</sup> )	
1	春日市	7,836.4
2	志免町	5,226.7
3	福岡市	4,563.9
4	大野城市	3,734.7
5	粕屋町	3,308.6
6	水巻町	2,606.3
7	中間市	2,569.7
8	太宰府市	2,442.3
9	北九州市	1,932.4
10	須恵町	1,691.4

## 2 年齢別人口

### 進む人口の高齢化

本県人口の平均年齢は46.1歳で、前年(45.9歳)に比べ0.2歳上昇した。

人口を年齢3区分別にみると、年少人口(0～14歳)が673,092人(県人口の13.3%)、生産年齢人口(15～64歳)が3,008,505人(同59.6%)、老年人口(65歳以上)が1,366,299人(同27.1%)となっている。

1年間に、年少人口は2,110人、生産年齢人口は20,932人それぞれ減少したが、老年人口は26,858人増加している。(表4)

また、人口構成比でみると、年少人口は0.05ポイント、生産年齢人口は0.46ポイントそれぞれ減少したのに対し、老年人口は0.51ポイント増加した。

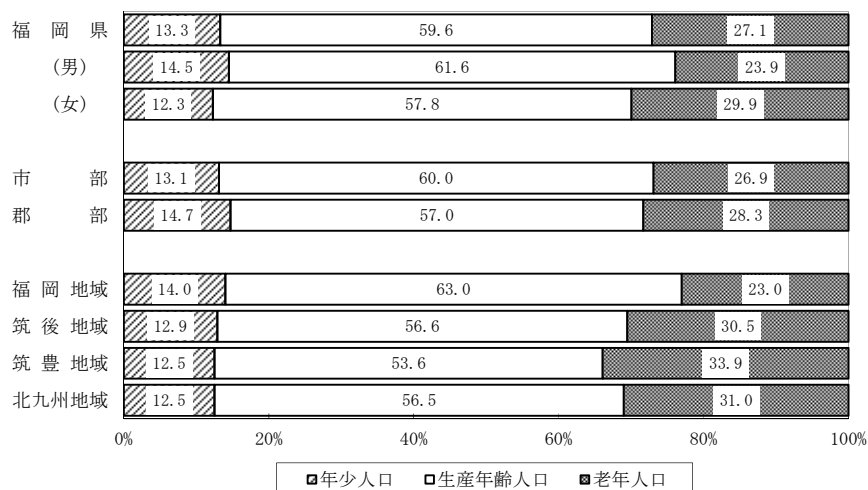
表4 年齢(3区分)別人口(平成12年～平成29年)

年次		平成29年	平成28年	平成27年	平成22年	平成17年	平成12年
人口(人)	総数	5,110,338	5,106,707	5,101,556	5,071,968	5,049,908	5,015,699
	年少人口 (0～14歳)	673,092	675,202	676,045	684,124	701,195	742,740
	生産年齢人口 (15～64歳)	3,008,505	3,029,437	3,057,855	3,227,932	3,326,610	3,393,080
	老年人口 (65歳以上)	1,366,299	1,339,441	1,304,764	1,123,376	997,798	870,290
構成比(%)	年少人口	13.3	13.4	13.4	13.6	14.0	14.8
	生産年齢人口	59.6	60.1	60.7	64.1	66.2	67.8
	老年人口	27.1	26.6	25.9	22.3	19.9	17.4
前年差(人)	年少人口	-2,110	-	-	-	-	-
	生産年齢人口	-20,932	-	-	-	-	-
	老年人口	26,858	-	-	-	-	-

注) 総数には「年齢不詳」を含む。構成比には「年齢不詳」を含まない。  
平成12年～平成27年は総務省統計局「国勢調査」による。

地域別にみると、生産年齢人口割合が63.0%と最も高い福岡地域で、老年人口割合が最も低い23.0%となっている。一方、生産年齢人口割合が53.6%と最も低い筑豊地域では、老年人口割合が最も高い33.9%となっており、県内地域間で年齢構造が異なっている。(図2)

図2 年齢(3区分)別人口割合



注) 割合には「年齢不詳」を含まない。

### 3 世帯の動向

#### 総世帯数は 2,253,916 世帯

平成 29 年 10 月 1 日現在の福岡県の総世帯数は 2,253,916 世帯で、1 年間に 26,935 世帯、1.21% 増加している。

1 世帯当たり人員は 2.27 人で、前回に比べ 0.02 人減少しており、世帯規模の縮小が続いている。(表 5)

表5 世帯数及び1世帯当たり人員

	世帯数 (世帯)		1世帯当たり 人員(人)	
	29年	28年	29年	28年
福岡県	2,253,916	2,226,981	2.27	2.29
市	1,999,979	1,975,898	2.23	2.25
郡	253,937	251,083	2.56	2.60
福岡地域	1,207,518	1,186,918	2.18	2.20
筑後地域	313,669	310,555	2.57	2.60
筑豊地域	172,389	171,939	2.37	2.40
北九州地域	560,340	557,569	2.26	2.29

世帯数を市町村別にみると、福岡市が 792,526 世帯（総世帯の 35.2%）で最も多く、次いで北九州市の 428,927 世帯（同 19.0%）、久留米市の 125,265 世帯（同 5.6%）と上位 3 市で世帯全体の約 6 割を占めている。

1 世帯当たり人員をみると、最も多いのは大木町の 3.03 人で、次いで筑前町の 2.90 人となり、上位 10 市町中 7 市町が筑後地域となっている。(表 6)

表6 世帯数及び1世帯当たり人員順位(市町村)

順位	世帯数 (世帯)		1世帯当たり人員 (人)	
1	福岡市	792,526	大木町	3.03
2	北九州市	428,927	筑前町	2.90
3	久留米市	125,265	大刀洗町	2.90
4	飯塚市	55,598	東峰村	2.87
5	大牟田市	49,196	うきは市	2.86
6	春日市	44,640	みやま市	2.84
7	大野城市	41,062	宇美町	2.81
8	筑紫野市	40,652	八女市	2.80
9	宗像市	40,139	柳川市	2.79
10	糸島市	36,106	広川町	2.78

## 第2 人口動態

### 1 人口増加数

#### 1年間に3,631人(0.07%)増加

1年間(平成28年10月1日～29年9月30日)の総人口の増加3,631人(0.07%)の内訳は、自然増加が-9,014人(-0.18%),社会増加が12,645人(0.25%)となっており、社会増加が自然増加を上回った。

4地域別にみると、1年間に人口が増加したのは福岡地域のみであり、他の地域では人口減少が続いている。(表7, 表8, 図3)

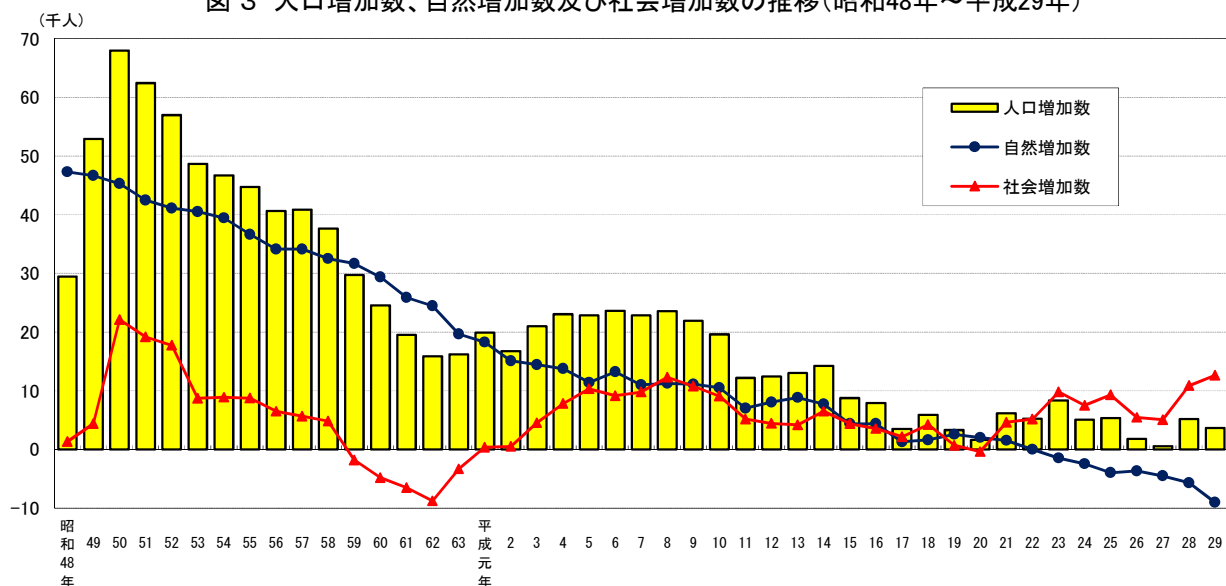
表7 人口増加数、自然増加数及び社会増加数(28年10月1日～29年9月30日)

	人口増加数(人)		自然増加数(人)		社会増加数(人)	
	29年	28年	29年	28年	29年	28年
福岡県	3,631	5,151	-9,014	-5,710	12,645	10,861
(男)	2,915	3,369	-4,111	-2,158	7,026	5,527
(女)	716	1,782	-4,903	-3,552	5,619	5,334
市	5,013	5,697	-7,397	-4,548	12,410	10,245
郡	-1,382	-546	-1,617	-1,162	235	616
福岡地域	17,809	19,311	2,576	4,384	15,233	14,927
筑後地域	-4,069	-3,756	-3,673	-3,095	-396	-661
筑豊地域	-3,422	-4,038	-2,685	-2,599	-737	-1,439
北九州地域	-6,687	-6,366	-5,232	-4,400	-1,455	-1,966

表8 人口増加率、自然増加率及び社会増加率(28年10月1日～29年9月30日)

	人口増加率(%)		自然増加率(%)		社会増加率(%)	
	29年	28年	29年	28年	29年	28年
福岡県	0.07	0.10	-0.18	-0.11	0.25	0.21
(男)	0.12	0.14	-0.17	-0.09	0.29	0.23
(女)	0.03	0.07	-0.18	-0.13	0.21	0.20
市	0.11	0.13	-0.17	-0.10	0.28	0.23
郡	-0.21	-0.08	-0.25	-0.18	0.04	0.09
福岡地域	0.68	0.75	0.10	0.17	0.58	0.58
筑後地域	-0.50	-0.46	-0.45	-0.38	-0.05	-0.08
筑豊地域	-0.83	-0.97	-0.65	-0.62	-0.18	-0.35
北九州地域	-0.52	-0.50	-0.41	-0.34	-0.11	-0.15

図3 人口増加数、自然増加数及び社会増加数の推移(昭和48年～平成29年)



## 増加数は福岡市がトップ、増加率は福津市がトップ

人口増加数を市町村別にみると、福岡市が13,411人で最も多く、以下、福津市が1,346人、粕屋町が646人となっている。また、人口増加率では福津市が2.23%と最も高く、以下、久山町が2.17%、新宮町が1.90%となっている。(表9)

表9 人口増加数及び人口増加率順位(市町村)(28年10月1日～29年9月30日)

人口増加数(人)						人口増加率(%)					
順位	29年		順位	28年		順位	29年		順位	28年	
1	福岡市	13,411	1	福岡市	15,097	1	福津市	2.23	1	新宮町	2.96
2	福津市	1,346	2	福津市	1,502	2	久山町	2.17	2	福津市	2.56
3	粕屋町	646	3	新宮町	897	3	新宮町	1.90	3	苅田町	1.70
4	新宮町	594	4	粕屋町	744	4	粕屋町	1.40	4	粕屋町	1.64
5	筑紫野市	573	5	筑紫野市	672	5	苅田町	1.01	5	久山町	1.63
6	行橋市	534	6	苅田町	593	6	福岡市	0.86	6	福岡市	0.98
7	糸島市	460	7	大野城市	495	7	行橋市	0.76	7	須恵町	0.68
8	大野城市	407	8	久留米市	420	8	筑紫野市	0.56	8	筑紫野市	0.66
9	苅田町	358	9	那珂川町	246	9	須恵町	0.50	9	大野城市	0.50
10	宗像市	315	10	須恵町	185	10	糸島市	0.48	10	那珂川町	0.49

## 2 自然増加数

### 1年間に9,014人(0.18%)減少

1年間の自然増加数は-9,014人(出生者43,444人、死亡者52,458人)で、自然増加率は-0.18%であった。前の1年間に比べると、出生者数は1,721人減少、死亡者数は1,583人増加となった。地域別にみると、福岡地域のみ増加となっており、他の地域は全て減少している。(表10、表11)

表10 自然増加数及び出生・死亡者数(28年10月1日～29年9月30日)

	自然増加数(人)		出生者数(人)		死亡者数(人)	
	29年	28年	29年	28年	29年	28年
福岡県	-9,014	-5,710	43,444	45,165	52,458	50,875
(男)	-4,111	-2,158	22,196	23,316	26,307	25,474
(女)	-4,903	-3,552	21,248	21,849	26,151	25,401
市部	-7,397	-4,548	37,759	39,265	45,156	43,813
郡部	-1,617	-1,162	5,685	5,900	7,302	7,062
福岡地域	2,576	4,384	24,131	25,004	21,555	20,620
筑後地域	-3,673	-3,095	6,339	6,614	10,012	9,709
筑豊地域	-2,685	-2,599	3,173	3,263	5,858	5,862
北九州地域	-5,232	-4,400	9,801	10,284	15,033	14,684

表11 自然増加率及び出生・死亡率(28年10月1日～29年9月30日)

	自然増加率(%)		出生率(‰)		死亡率(‰)	
	29年	28年	29年	28年	29年	28年
福岡県	-0.18	-0.11	8.51	8.85	10.27	9.97
(男)	-0.17	-0.09	9.20	9.67	10.90	10.57
(女)	-0.18	-0.13	7.89	8.12	9.71	9.44
市部	-0.17	-0.10	8.48	8.83	10.14	9.85
郡部	-0.25	-0.18	8.71	9.03	11.19	10.81
福岡地域	0.10	0.17	9.24	9.65	8.26	7.96
筑後地域	-0.45	-0.38	7.84	8.14	12.38	11.95
筑豊地域	-0.65	-0.62	7.69	7.83	14.20	14.07
北九州地域	-0.41	-0.34	7.69	8.03	11.79	11.46

出生・死亡者数の推移をみると、出生者数はこのところ概ね横ばいであるが、死亡者数は増加傾向にある。死亡者数が出生者数を上回った平成23年以降は自然減少が続いている。(図4)

また、市町村別にみると、自然増加数は福岡市(2,438人)が最も多く、自然増加率は粕屋町(0.71%)が最も高くなっている。(表12)

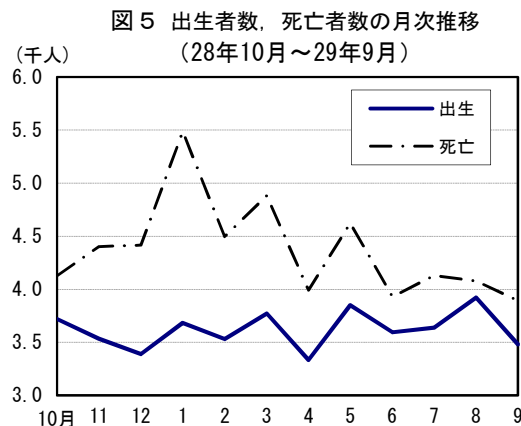
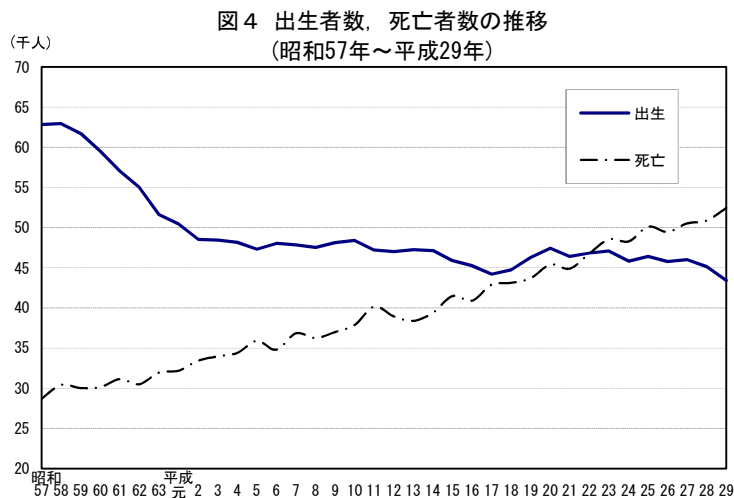


表12 自然増加数及び自然増加率順位(市町村)(28年10月1日～29年9月30日)

自然増加数(人)					自然増加率(%)						
順位	29年		順位	28年		順位	29年		順位	28年	
1	福岡市	2,438	1	福岡市	3,467	1	粕屋町	0.71	1	粕屋町	0.90
2	粕屋町	329	2	粕屋町	408	2	新宮町	0.56	2	新宮町	0.77
3	大野城市	276	3	大野城市	384	3	大野城市	0.28	3	大野城市	0.39
4	新宮町	175	4	春日市	270	4	那珂川町	0.21	4	那珂川町	0.26
5	春日市	137	5	新宮町	235	5	福岡市	0.16	5	春日市	0.24
6	筑紫野市	126	6	那珂川町	130	6	筑紫野市	0.12	6	福岡市	0.23
7	那珂川町	108	7	筑紫野市	126	7	春日市	0.12	7	篠栗町	0.21
8	志免町	50	8	志免町	92	8	志免町	0.11	8	志免町	0.20
9	苅田町	20	9	篠栗町	64	9	篠栗町	0.06	9	苅田町	0.18
10	篠栗町	18	10	苅田町	62	10	苅田町	0.06	10	筑紫野市	0.12

### 3 社会増加数

#### 1年間に12,645人(0.25%)増加

1年間の社会増加数は12,645人(転入者284,864人、転出者272,219人)で、社会増加率は0.25%であった。前の1年間に比べると、転入者数は3,439人、転出者数は1,655人それぞれ増加となった。地域別にみると、社会増となったのは自然増と同様に福岡地域のみである。(表13、表14)

表13 社会増加数及び転入・転出者数(28年10月1日～29年9月30日)

	社会増加数(人)		転入者数(人)		転出者数(人)	
	29年	28年	29年	28年	29年	28年
福岡県	12,645	10,861	284,864	281,425	272,219	270,564
(男)	7,026	5,527	148,254	145,891	141,228	140,364
(女)	5,619	5,334	136,610	135,534	130,991	130,200
市部	12,410	10,245	252,162	249,031	239,752	238,786
郡部	235	616	32,702	32,394	32,467	31,778
福岡地域	15,233	14,927	179,444	178,433	164,211	163,506
筑後地域	-396	-661	30,708	30,223	31,104	30,884
筑豊地域	-737	-1,439	15,038	14,848	15,775	16,287
北九州地域	-1,455	-1,966	59,674	57,921	61,129	59,887



表14 社会増加率及び転入・転出率(28年10月1日～29年9月30日)

	社会増加率(%)		転入率(%)		転出率(%)	
	29年	28年	29年	28年	29年	28年
福岡県	0.25	0.21	5.58	5.52	5.33	5.30
(男)	0.29	0.23	6.14	6.05	5.85	5.82
(女)	0.21	0.20	5.07	5.04	4.86	4.84
市	0.28	0.23	5.66	5.60	5.38	5.37
郡	0.04	0.09	5.01	4.96	4.98	4.87
福岡地域	0.58	0.58	6.87	6.89	6.29	6.31
筑後地域	-0.05	-0.08	3.80	3.72	3.85	3.80
筑豊地域	-0.18	-0.35	3.65	3.56	3.82	3.91
北九州地域	-0.11	-0.15	4.68	4.52	4.80	4.67

転入・転出者数の推移をみると、平成8年以降減少傾向にあったが、ここ数年は横ばいとなっている。(図6)

また、市町村別にみると、社会増加数は福岡市(10,973人)が最も多く、社会増加率は久山町(2.34%)が最も高くなっている。(表15)

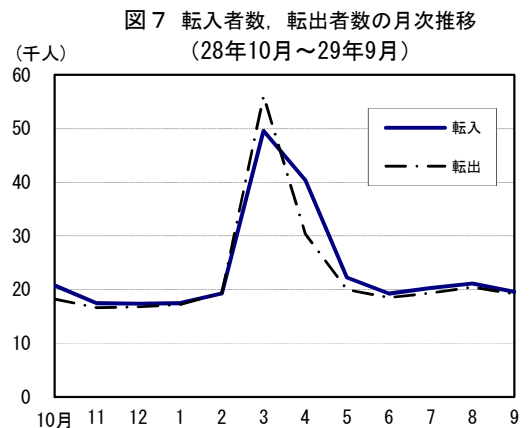
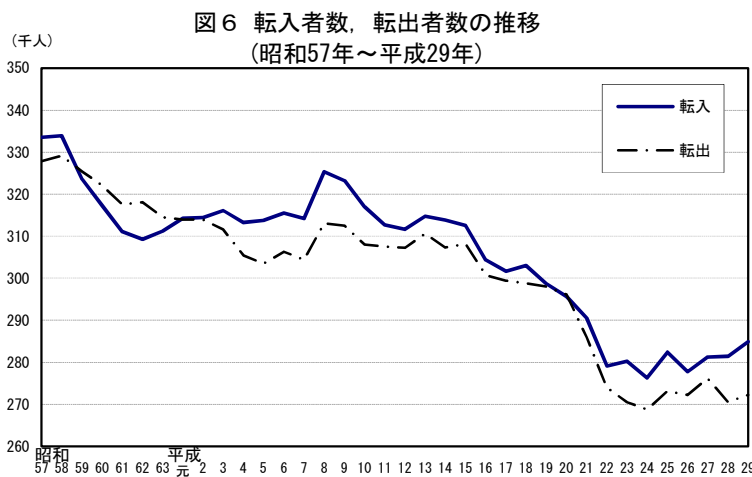


表15 社会増加数及び社会増加率順位(市町村) (28年10月1日～29年9月30日)

社会増加数(人)					
順位	29年		順位	28年	
1	福岡市	10,973	1	福岡市	11,630
2	福津市	1,368	2	福津市	1,449
3	糸島市	801	3	久留米市	665
4	行橋市	613	4	新宮町	662
5	苅田町	531	5	筑紫野市	546
6	筑紫野市	447	6	苅田町	531
7	新宮町	419	7	糸島市	361
8	小郡市	414	8	粕屋町	336
8	宗像市	361	9	宗像市	235
10	粕屋町	317	10	須恵町	184

社会増加率(%)					
順位	29年		順位	28年	
1	久山町	2.34	1	福津市	2.47
2	福津市	2.27	2	新宮町	2.18
3	苅田町	1.52	3	久山町	2.03
4	新宮町	1.34	4	苅田町	1.52
5	行橋市	0.87	5	福岡市	0.76
6	糸島市	0.83	6	粕屋町	0.74
7	小郡市	0.71	7	須恵町	0.67
8	福岡市	0.71	8	筑紫野市	0.54
9	粕屋町	0.69	9	糸島市	0.37
10	筑後市	0.50	10	大刀洗町	0.34

#### 4 移動者の状況

##### (1) 移動者数の状況

**移動者数は 389,256 人**

1年間の移動者数をみると、県内移動者（県内各市町村からの転入者）が156,729人、県外移動者（県外からの転入者と県外への転出者の合計）が232,527人で、これらを合わせた移動者総数は389,256人となっている。（表16）

移動者数を年齢（5歳階級）別にみると、20～24歳の77,199人（構成比19.8%）が最も多く、以下、25～29歳の66,921人（同17.2%）、30～34歳の49,645人（同12.8%）の順となっている。（表17）

表16 県内・県外移動者数の推移（平成2年～平成29年）

年次	移動者(人)	移動者(人)		
		県内移動	県外転入	県外転出
平成2年	429,787	187,349	122,023	120,415
3	432,155	186,133	125,427	120,595
4	429,135	181,499	128,356	119,280
5	424,459	184,634	125,833	113,992
6	423,634	189,814	122,310	111,510
7	422,317	187,705	123,166	111,446
8	439,048	189,087	130,480	119,481
9	439,925	186,203	131,321	122,401
10	435,763	179,082	132,289	124,392
11	430,065	179,414	127,340	123,311
12	428,730	178,897	126,696	123,137
13	432,980	181,348	127,573	124,059
14	431,674	178,242	129,510	123,922
15	429,967	180,176	126,537	123,254
16	420,844	173,240	125,160	122,444
17	417,847	172,006	123,672	122,169
18	418,073	172,691	124,058	121,324
19	415,146	170,805	121,761	122,580
20	411,048	170,474	119,677	120,897
21	401,922	165,509	119,162	117,251
22	383,159	161,737	112,472	108,950
23	384,594	159,548	116,958	108,088
24	379,510	156,175	115,427	107,908
25	382,882	159,416	117,138	106,328
26	378,946	158,763	113,565	106,618
27	384,539	160,226	115,432	108,881
28	382,799	157,261	117,918	107,620
29	389,256	156,729	123,502	109,025

注) 平成7年以前の数値は総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」によるため、外国人を含まない。

表17 年齢(5歳階級)別移動者数(28年10月1日～29年9月30日)

年齢階級	移動者				転入者			転出者		
	総数	構成比(%)	県内移動(a)	県外移動(b)+(c)	総数	県内(a)	県外(b)	総数	県内	県外(c)
総数	389,256	100.0	156,729	232,527	284,864	156,729	123,502	272,219	157,388	109,025
0～4	26,854	6.9	12,257	14,597	20,043	12,257	7,530	19,593	12,336	7,067
5～9	13,447	3.5	5,013	8,434	9,662	5,013	4,532	9,055	5,036	3,902
10～14	6,839	1.8	2,682	4,157	4,931	2,682	2,175	4,729	2,695	1,982
15～19	24,705	6.3	7,449	17,256	18,068	7,449	10,332	14,636	7,543	6,924
20～24	77,199	19.8	24,029	53,170	53,273	24,029	28,496	50,243	24,202	24,674
25～29	66,921	17.2	27,495	39,426	48,332	27,495	20,186	48,220	27,529	19,240
30～34	49,645	12.8	22,058	27,587	36,945	22,058	14,410	36,036	22,110	13,177
35～39	33,471	8.6	14,490	18,981	24,672	14,490	9,795	24,179	14,541	9,186
40～44	24,303	6.2	9,832	14,471	17,690	9,832	7,544	17,058	9,829	6,927
45～49	17,341	4.5	6,946	10,395	12,676	6,946	5,431	12,202	6,967	4,964
50～54	12,152	3.1	4,890	7,262	8,981	4,890	3,852	8,518	4,897	3,410
55～59	9,140	2.3	3,989	5,151	6,964	3,989	2,791	6,504	3,994	2,360
60～64	7,123	1.8	3,510	3,613	5,677	3,510	1,995	5,250	3,531	1,618
65～69	6,201	1.6	3,407	2,794	5,136	3,407	1,553	4,766	3,423	1,241
70～74	3,326	0.9	1,983	1,343	2,832	1,983	762	2,615	1,992	581
75～79	2,996	0.8	1,855	1,141	2,540	1,855	617	2,438	1,874	524
80～84	3,013	0.8	1,886	1,127	2,504	1,886	585	2,454	1,898	542
85～89	2,804	0.7	1,747	1,057	2,379	1,747	603	2,235	1,770	454
90～94	1,416	0.4	944	472	1,225	944	261	1,170	953	211
95～99	326	0.1	238	88	293	238	50	277	236	38
100歳以上	34	0.0	29	5	35	29	2	35	32	3
不詳	0	0.0	0	0	6	0	0	6	0	0

注1) 転入者及び転出者の総数には、新旧住所地不明者及び職権記載者、消除者を含む。

注2) 県内転入者と県内転出者は本来一致するものであるが、届出時期の関係等で一致しないため、  
県内転入者=県内移動者としている

## (2) 県内移動

1年間の県内移動者数は156,729人となっている。年齢(5歳階級)別にみると、25～29歳の27,495人(構成比17.5%)が最も多く、以下、20～24歳の24,029人(同15.3%)、30～34歳の22,058人(同14.1%)と続いている。(表17)

県内移動者を地域別にみると、福岡地域への転入者が96,987人と最も多く、次いで北九州地域の34,371人、筑後地域の14,892人、筑豊地域の10,479人となっている。地域間移動をみると同一域内以外では、筑後地域から福岡地域への移動が42.2%と最も高くなっている。(表18)

表18 県内地域間移動(28年10月1日～29年9月30日)

		移動先住所別県内移動者数(人)					移動先住所別割合(%)				
		県計	福岡地域	筑後地域	筑豊地域	北九州地域	県計	福岡地域	筑後地域	筑豊地域	北九州地域
従前住所地	県計	156,729	96,987	14,892	10,479	34,371	100.0	61.9	9.5	6.7	21.9
	福岡地域	93,382	79,053	5,755	2,245	6,329	100.0	84.7	6.2	2.4	6.8
	筑後地域	15,647	6,609	7,763	333	942	100.0	42.2	49.6	2.1	6.0
	筑豊地域	11,144	3,044	352	5,624	2,124	100.0	27.3	3.2	50.5	19.1
	北九州地域	36,556	8,281	1,022	2,277	24,976	100.0	22.7	2.8	6.2	68.3

注) 表側の地域から、表頭の地域への転入者。

## (3) 県外移動

1年間の県外移動者数(国外への転出入を含む)は232,527人となっている。このうち、転入者が123,502人、転出者が109,025人で、14,477人の転入超過となっている。

また県外移動者の地域別構成比をみると、最も高い福岡地域の63.4%に対し、最も低い筑豊地域では3.7%となっている。(表19)

年齢(5歳階級)別にみると、20～24歳の53,170人(構成比22.9%)が最も多く、以下、25～29歳の39,426人(同17.0%)、30～34歳の27,587人(11.9%)と続いている。(表17)

表19 地域別県外移動者数及び構成比  
(28年10月1日～29年9月30日)

	県外移動者数(人)		転入者数(人)		転出者数(人)	
		構成比(%)		構成比(%)		構成比(%)
福岡県	232,527	100.0	123,502	100.0	109,025	100.0
市	210,568	90.6	112,137	90.8	98,431	90.3
郡	21,959	9.4	11,365	9.2	10,594	9.7
福岡地域	147,349	63.4	80,232	65.0	67,117	61.6
筑後地域	29,868	12.8	15,291	12.4	14,577	13.4
筑豊地域	8,528	3.7	4,282	3.5	4,246	3.9
北九州地域	46,782	20.1	23,697	19.2	23,085	21.2

(4) 住所地別にみた県外転入・県外転出

**転入者は国外、転出者は東京都が最多**

住所地別に県外からの転入者の内訳をみると、国外からの転入で21,167人、次いで東京都の10,507人、長崎県の9,372人の順となっており、県外への転出先の内訳では、東京都の14,897人、国外の8,340人、熊本県の7,771人の順となっている。(表20, 表21)

**表20 従前住所地別県外転入者順位  
(28年10月1日～29年9月30日)**

順位	従前住所地	転入者数 (人)	構成比 (%)
-	県外計	123,502	100.0
1	国外	21,167	17.1
2	東京都	10,507	8.5
3	長崎県	9,372	7.6
4	熊本県	9,111	7.4
5	佐賀県	7,477	6.1
6	大分県	6,852	5.5
7	鹿児島県	5,999	4.9
8	大阪府	5,676	4.6
9	神奈川県	5,037	4.1
10	山口県	5,034	4.1

**表21 移動後住所地別県外転出者順位  
(28年10月1日～29年9月30日)**

順位	転出先住所地	転出者数 (人)	構成比 (%)
-	県外計	109,025	100.0
1	東京都	14,897	13.7
2	国外	8,340	7.6
3	熊本県	7,771	7.1
4	大阪府	6,528	6.0
5	佐賀県	6,425	5.9
6	長崎県	6,335	5.8
7	神奈川県	5,988	5.5
8	大分県	5,614	5.1
9	鹿児島県	4,558	4.2
10	愛知県	4,547	4.2

**筑後地域、北九州地域で顕著な隣接県との移動**

住所地別転出入を地域別にみると、県外からの転入者は、福岡地域では12,798人、筑後地域では3,620人、筑豊地域では682人、北九州地域では4,067人と全ての地域で国外が最も多くなっている。(表22)

県外への転出者は、福岡地域では東京都の10,369人、筑後地域では佐賀県の1,883人、筑豊地域では東京都の521人、北九州地域では東京都の2,483人が最も多くなっている。(表23)

4地域とも九州各県や東京都、国外からの移動が多いが、特に筑後地域の佐賀県や熊本県、北九州地域の山口県や大分県など、その地域と隣接する県との間の移動が多くなっている。

**表22 地域別転入者の従前の住所地順位(28年10月1日～29年9月30日)**

順位	福岡地域		筑後地域		筑豊地域		北九州地域	
	従前の住所地	(人)	従前の住所地	(人)	従前の住所地	(人)	従前の住所地	(人)
1	国外	12,798	国外	3,620	国外	682	国外	4,067
2	東京都	7,787	熊本県	1,952	東京都	330	山口県	2,125
3	長崎県	6,902	佐賀県	1,776	熊本県	282	大分県	1,938
4	熊本県	5,819	長崎県	1,044	長崎県	248	東京都	1,551
5	佐賀県	4,699	東京都	839	佐賀県	235	長崎県	1,178
6	鹿児島県	4,402	神奈川県	596	大分県	227	熊本県	1,058
7	大分県	4,106	大分県	581	山口県	197	神奈川県	1,031
8	大阪府	4,038	鹿児島県	524	大阪府	192	大阪府	1,023
9	神奈川県	3,259	大阪府	423	千葉県	189	鹿児島県	912
10	宮崎県	2,995	宮崎県	376	愛知県	180	愛知県	848

表23 地域別転出者の移動後住所地順位(28年10月1日～29年9月30日)

順位	福岡地域		筑後地域		筑豊地域		北九州地域	
	移動後住所地	(人)	移動後住所地	(人)	移動後住所地	(人)	移動後住所地	(人)
1	東京都	10,369	佐賀県	1,883	東京都	521	東京都	2,483
2	国 外	4,974	熊本県	1,794	国 外	465	大分県	1,795
3	熊本県	4,600	東京都	1,524	大阪府	243	国 外	1,753
4	長崎県	4,471	国 外	1,148	長崎県	234	山口県	1,622
5	大阪府	4,432	長崎県	715	熊本県	231	神奈川県	1,341
6	神奈川県	3,783	大分県	651	神奈川県	225	愛知県	1,250
7	佐賀県	3,716	神奈川県	639	大分県	222	大阪府	1,221
8	鹿児島県	3,147	大阪府	632	愛知県	203	熊本県	1,146
9	大分県	2,946	千葉県	620	佐賀県	188	千葉県	944
10	愛知県	2,562	愛知県	532	千葉県	177	広島県	916